

西成

ほっとした救命講習

4月23日、当署5階講堂で普通救命講習を実施しました。

受講者は青少年指導員連絡協議会の依頼で、中学生と高校生16名が受講してくれ、緊張感のなか講習会が始まり、救急隊が到着するまでの処置がいかに重要な説明に、中高生たちの眼差しが変わりました。一生懸命に取り組んでいる勇姿に地域防災の担い手としての頼もしさを感じた。(高田)



東住吉

「地域と大学をつなぐ」

4月4日、管内の大阪総合保育大学より依頼を受け、大地震への備えや大学生に期待すること「地域との協力」をテーマに講話を実施した。

大学所在地の地域の連合町会長にも来場を依頼し、「まちの声」として「平日の昼間、このまちには高齢者しかいない。大きな地震が起こったらみんなの力を貸してもらいたい」と発表していただいた。地域と大学がつながって有事の際には助け合うことを心から願う。(岡)



水上

署内火災調査事例発表会開催

3月22日9時30分から当署講堂において、予防課から調査鑑識担当の2名を招いて火災調査事例発表会を実施した。

火災件数の少ない当署ならではの取り組みとして、署長以下1、2部警防担当者が、火災調査の手法、経験を署員全体で共有し火災調査補助者の育成、火災調査技術の向上が図れ、大変有意義なものとなった。

(小林)



平野

特別査察隊オーダーメイド研修

3月9日、当署において特別査察隊の査察研修が行われた。

違反処理を行うための必要事項を聴取し、警告書と質問記録書を作成する内容。

さらに、危険物無許可貯蔵対象物の模擬検査を実施。貯蔵量の算定、自認書と命令書の書き方を学び、立入検査における違反是正について理解ができ、今後の立入検査時から実施する。(植木)

